

単元名：

「What would you like?

丁寧な言い方で料理を注文する仕方を

知ることができる」

(全8時間扱い中 第1時)

授業日時 2021年11月8日(月)第5校時

授業学級 5年東組

授業会場 5年東組教室

授業者

指導者

(1) 主眼(授業の手立て&ねらい)

(○○の子ども達が)○○の場面で、○○を通して、○○を□□することができる／できるようになる。

英語で店員とお客さんで買い物することを楽しみにしている子どもたちが、What would you like? の単元を新たに始める場面で、動画に出てきた単語を確認し教師が発音した単語のイラストを選ぶクイズを通して、単元で使う食べ物や飲み物の単語を知ることができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※留意点・【教材】	時間
導入	1. オディ先生が買い物する場面を示す	「自分たちも早くやりたい」 「何ていうの」	子どもが今回行う場面を想定できるように、授業者が店員・オディ先生が客の場面で、買い物の様子を伝える	5
	【学習問題】単元で使う食べ物や飲み物の単語を知ろう。			
	2. ビデオを見る	静かに音に耳を澄ませる	どのような文や単語を使うのか子どもたちが分かるように、ビデオを流す。【ビデオ】	10
	【学習課題】動画に出てきた単語を確認し教師が発音した単語のイラストを選ぶクイズをしよう			

展開	3. 動画や教科書に出てきた食べ物を確認する	「hamburger」 「フライドチキン」 「Fried chicken」 「Spaghetti」 「ice cream」	この単元で使う単語を子どもたちが分かるため、動画に出てきた食べ物を子どもたちに聞き、出てきた食べ物カードは黒板に貼っていく。【食べ物のイラストカード】 「Please tell me the food that appeared in the vide. 動画に出てきた食べ物を教えて」 動画を見て出てこなかった単語に関しては、教科書を開き、イラストを見ながら出てくる食べ物を子どもに答えさせる。出てきた食べ物は黒板に貼っていく。 「Open the textbook.」 「Please tell me the food in the textbook illustrations.教科書のイラストに載っている食べ物を教えてください。」 *子どもがカタカナ英語で言う単語、例えば「フライドポテト」→「french fries」、黒板に示すときに適切な英語の発音になおす。	10
	3. Kahoot！を使って単語ゲーム	1 問ごとにクラスの順位が出てくるので、盛り上がる。 ゲームが終わると、 「もっと、やりたい」 「他ないの?」「次やろう」	Kahoot!を使って単語ゲーム。早押しと正解でポイントが入る。 子どもたちはそれぞれ chrome book を使ってゲームに参加する。【chrome book】 授業者が「I'd like ○○.」と言い、授業者が言った食べ物のイラストを選ぶ早押しクイズ開始。 *子どもが聞き取れるように授業者は正確にはっきりと発音する。 *万が一、クラス全員での接続が難しい場合は、教科書のイラストを指さすポイントニングゲームを行う。	20
【本時の評価（評価する対象）】 単元で使う食べ物や飲み物の単語を知ることができる。 （ゲームの参加）				
終末				